

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

『今屋敷の防火壁』

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。これは、昭和24年(1949)1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいていま

町人を悩ませる種でした。

対馬藩城下町の風情が残る厳原市街地を散策すると、路地が狭いことに気づくでしょう。

当時の府中には、この狭い路地を挟んで木造家屋が密集していました。そのため、ひとたび火災が発生すると被害が大規模になりやすかったのです。

その大火を食い止めるために、対馬藩が採用したのが、「防火壁」でした。

「今屋敷の防火壁」には、次のような文章が刻まれています。

天保十五年甲辰正月
消防為火切築之
高サ一丈三尺根幅五尺

これは、消防延焼防止のために、高さ1丈3尺(約3.9m)の石垣を、天保十五年(1844)に築いたという内容です。

この防火壁の特徴は、約3.9mという高さにあります。民家の軒よりも高いため、火が隣の区画へ広がるのを防ぎ、火災を最小限に食い止めることができるようになってい

ます。まさに、火事に悩まされた先人たちの苦勞と防火の精神が感じられる文化財です。

この時期は、1年で最も火災が発生しやすい季節です。火の取り扱いは十分に気をつけて、文化財のみならず、地域や自然の防火について考えてみてください。

参考文献 『厳原町誌』



今屋敷の防火壁

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

2月3日(日)は、図書ボランティア養成講座のため臨時休業いたします。利用者の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。おはなし会は、2月16日(土) 14:00から開催します。楽しい内容いっぱいです。みんな来てね！
図書館カードの更新手続きを行なっています。期限切れの方はカウンターまでお持ち下さい。

2月の休館日

休館日
おはなし会

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

*1月のおはなし会はお休みします。

今月のおすすめ新着本

一般書	『40歳からの女性ホルモンの高め方』 対馬 ルリ子/監 30代後半、40代に入って、「なんだかやる気が出ない」「イライラする」すぐに落ち込んでしまう「からだがかむくみやすくなった」などの不調に本書で紹介する、女性ホルモンと上手につきあう方法を身につけて、もっとアクティブに楽しい毎を送りましょう!	『探検隊の栄光』 荒木 源/著 80年代。効果音や独特の節回しのナレーションなど、サービス精神に満ちた過剰な演出で秘境の地を探検する人気テレビ番組シリーズの撮影クルーたちは、幻の大蛇・ヤマガを求めて亜熱帯の地を彷徨っていた。しかし、その先には反対勢力の現政府軍の罠が待ち構えていたが...	『NAGASAKI パーフェクトガイドブック』 ながさきプレス/著 長崎の地元テレビ局と出版社がコラボ出版! 長崎県内の全21市町にスポットをあてて、グルメ、歴史、祭り、絶景...をご紹介します。 長崎の魅力が再発見できる1冊。
	『ばくのポチブルてき生活』 きたやま ようこ/著 絵を描いたり、詩を書いたり楽しい事はいっぱいあるけど、犬のポチブルにとって一番素敵なことは手紙を書くこと。風、くじら、あり、ヤジルシ、電車、コスモスへ手紙を書きました。紙とペンさえあればご機嫌なポチブル。そんな世界へみんなをご案内。	『科学のふしぎな話365』 日本化学未来館/監 「パンダのからだはどうして白と黒のもうなの?」「タマネギを切ると、どうしてみだが出てくるの?」「鉄でできた船が海にうかんでいるのはどうして?」など、子どもの「なぜ?」に答える科学のお話を12か月365日分集めました。お話し、子どもの好奇心を広げる10のジャンルを収録。	『落語絵本 めだま』 山田 洋次/編 1文でも身代を減らすまいと、いつも大きなめだまを店をにらみ廻っていた、べっこう問屋の源兵衛さんが、ある日、病であの世へ行ってしまう。息子と番頭は喜びますが、実は源兵衛さんは目玉だけ生き残る手術をしていたが...。映画寅さんシリーズで有名なあの山田洋次監督が手掛けた落語絵本。